

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-160977

(43)Date of publication of application : 20.06.1997

(51)Int.Cl.

G06F 17/60  
G06F 17/30

(21)Application number : 07-320909

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 08.12.1995

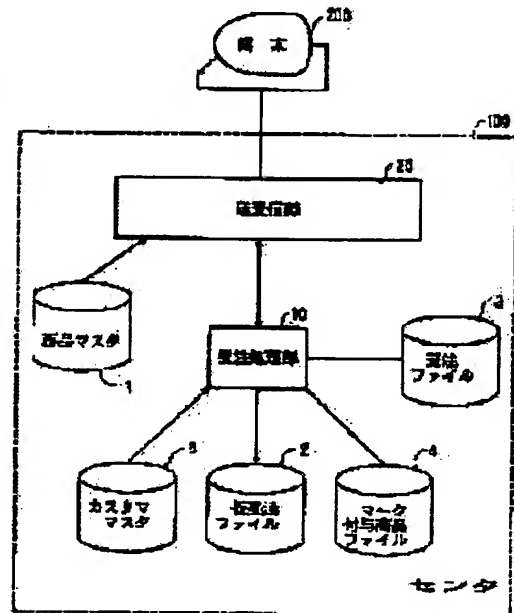
(72)Inventor : SUZUKI TETSUJIRO  
KASHIYU YURIKO

## (54) METHOD AND SYSTEM FOR MANAGING CUSTOMER HISTORY IN ON-LINE SHOPPING

### (57)Abstract

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily retrieve a commodity in which a customer is interested by marking a commodity selected by the customer, storing the marked commodity and directly displaying the marked commodity information on a screen at the next commodity information request.

**SOLUTION:** The customer selects liking commodities and informs a center 100 of the selected commodities. At the time of determining the purchase of commodities, the center 100 presents the contents ordered by the customer to the customer in a list. The customer refers to the list and input a commodity which the customer desires to purchase and the number of the commodity or the like. An ordering part 10 in the center 100 stores the commodity information of the commodity of which purchase is determined in an order file 3, edits commodities not purchased and stores the edited commodities in a marked commodity file 4 for every customer. When the same customer accesses the system thereafter, the marked commodity information is displayed and a list of commodities marked by the customer is displayed.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

29.08.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-160977

(43) 公開日 平成9年(1997)6月20日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/60			G 0 6 F 15/21	3 1 0 Z
17/30				Z
				3 3 0
			15/40	3 1 0 F

審査請求 未請求 請求項の数16 O L (全 17 頁)

(21) 出願番号 特願平7-320909

(22) 出願日 平成7年(1995)12月8日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番  
1号

(72) 発明者 鈴木 哲二郎

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内

(72) 発明者 賀集 ゆり子

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内

(74) 代理人 弁理士 伊東 忠彦

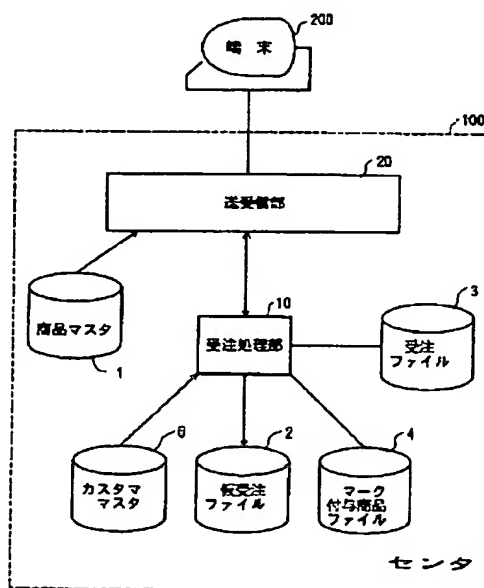
(54) 【発明の名称】 オンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法及びシステム

(57) 【要約】

【課題】 商品検索を行う最に、前回アクセスした情報を取得するためには、カスタマが必要とする情報に辿り着くまで、前回検索した画面と同一画面を何画面も見ることになる。

【解決手段】 本発明は、カスタマがセンタから提供された商品情報から選択した商品情報に対してマーキングを行い、カスタマ対応に記憶手段に格納しておき、カスタマが次回の商品情報検索要求を発行した時に、マーキングされた商品情報を記憶手段から読み出して、直接画面に表示する。

本発明の第1のシステム構成図



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 カスタマが有する端末と該端末にオンラインショッピングの情報を提供するセンタとの間において、提供される商品情報より所望の商品を選択して購入する際のカスタマの情報を管理するためのオンラインショッピングにおける履歴管理方法において、前記カスタマが前記センタから提供された商品情報において、選択した商品情報をカスタマ対応に記憶手段に格納しておき、

次回の商品情報検索要求時に、前記記憶手段から商品情報を読み出して、直接画面に表示することを特徴とするオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法。

【請求項2】 前記センタから提供された商品情報を表示し、

表示された前記商品情報から所望の商品を選択し、選択された全ての商品リストを表示し、

表示された前記商品リストから購入する商品を選択し、購入する商品、及び選択のみされた商品を区別して格納する請求項1記載のオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法。

【請求項3】 前記カスタマの識別子を入力し、以前に、前記識別子に対応するカスタマがマーキングした商品のリストを表示し、

前記商品リストから購入する商品を決定し、購入した商品についてマーキングして、カスタマ対応に前記記憶手段に格納する請求項1記載のオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法。

【請求項4】 前記選択された商品リストまたは、購入された商品リストを前記カスタマ毎に格納しておき、前記選択された商品リストまたは、前記購入された商品リストから傾向性を導出し、前記カスタマ対応に格納する請求項2または3記載のオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法。

【請求項5】 商品の販売を行う店舗単位に、商品の選択または購入した履歴情報または、該店舗をアクセスした履歴情報をカスタマ毎に格納しておくことを特徴とするオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法。

【請求項6】 前記カスタマが前記店舗に入店した時刻、退店した時刻を前記利用履歴に登録しておき、前記時刻を参照して、前記カスタマに提供する画面上の情報を変更する請求項5記載のオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法。

【請求項7】 前記カスタマが前記店舗で購入した金額合計、または、選択、または購入した商品情報を前記利用履歴に格納しておき、

前記利用履歴に基づいて前記カスタマに提示する画面情報を変更する請求項5記載のオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法。

【請求項8】 前記利用履歴から前記カスタマの傾向性情報を導出し、前記傾向性情報に基づいて前記カスタマに提示する画面情報を選択する請求項5記載のオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法。

【請求項9】 前記カスタマが前記店舗に対して会員登録していない場合に限って、入会申込用の画面情報を提供する請求項5記載のオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法。

【請求項10】 カスタマが有する端末と該端末にオンラインショッピングの情報を提供するセンタとの間において、提供される商品情報より所望の商品を選択して購入する際のカスタマの情報を管理するためのオンラインショッピングにおける履歴管理方法において、店舗から提供された商品情報について、選択した商品情報を履歴情報に格納し、

次回、前記カスタマが商品情報の要求を発行した場合に、前記履歴情報を参照して、マーキングされた商品情報を画面情報として前記カスタマに送信することを特徴とするオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法。

【請求項11】 ショッピング情報をオンラインにより提供するセンタと、該センタからの前記ショッピング情報から所望の商品の選択入力を行う端末から構成され、カスタマが該センタにアクセスした履歴を管理するオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理システムにおいて、

前記センタは、前記端末から指定された商品選択情報を格納する商品選択情報格納手段と、

前記端末から指定された商品購入情報を格納する商品購入情報格納手段と、前記商品選択情報格納手段に格納されている全ての商品選択情報と、前記商品購入情報格納情報に格納されている全ての商品購入情報との差分の情報にマークを付与して格納するマーク情報格納手段と、

前記端末から前記ショッピング情報要求が発行された場合に、前記マーク情報格納手段からマークが付与されている商品情報を読み出して、前記端末に提示するマーク情報提示手段とを有することを特徴とするオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理システム。

【請求項12】 ショッピング情報をオンラインにより提供するセンタと、該センタからの前記ショッピング情報から所望の商品の選択入力を行う端末から構成され、カスタマが該センタにアクセスした履歴を管理するオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理システムにおいて、

前記センタは、前記端末から指定された商品選択情報を格納する商品選択情報格納手段と、

前記商品情報格納手段に格納されている前記商品選択情

報を前記端末に提示する商品選択情報提示手段と、  
前記端末が前記商品選択情報から購入決定した以外の商品  
選択情報のみを格納する購入商品除外情報格納手段  
と、

前記購入商品除外情報格納手段の情報にマークを付与した  
情報を格納するマーク情報格納手段と、

前記端末から前記ショッピング情報要求が発行された場  
合に、前記マーク情報格納手段からマークを付与した情  
報を読み出して前記端末に提示するマーク情報提示手段  
とを有することを特徴とするオンラインショッピングにお  
けるカスタマ履歴管理システム。

【請求項13】 ショッピング情報をオンラインにより  
提供するセンタと、該センタからの前記ショッピング情  
報から所望の商品の選択入力を行う端末から構成され、  
カスタマが該センタにアクセスした履歴を管理するオン  
ラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理システム  
において、

前記センタは、

前記カスタマがアクセスしたオンラインショッピング上  
の店舗における履歴情報、商品選択履歴情報、又は、商  
品購入履歴情報の少なくとも1つの履歴情報を格納する  
履歴情報格納手段と、

前記履歴情報格納手段に格納されている履歴情報に基づ  
いて前記端末に提示する画面情報を選択する画面情報選  
択手段とを有することを特徴とするオンラインショッピ  
ングにおけるカスタマ履歴管理システム。

【請求項14】 前記履歴情報格納手段は、

前記カスタマの前記商品選択履歴情報または前記商品購  
入履歴情報の傾向性を示す情報を格納する傾向性情報格  
納手段を含む請求項13記載のオンラインショッピング  
におけるカスタマ履歴管理システム。

【請求項15】 前記センタは、

前記カスタマが前記オンラインショッピング上の店舗に  
未登録である場合のみ登録用の画面情報を提供する登録  
画面情報提供手段を更に有する請求項13記載のオンラ  
インショッピングにおけるカスタマ履歴管理システム。

【請求項16】 カスタマが有する端末と該端末にオン  
ラインショッピングの情報を提供するセンタとの間にお  
いて、提供される商品情報より所望の商品を選択して購  
入する際のカスタマの情報を管理するためのオンライン  
ショッピングにおける履歴管理システムにおいて、

前記カスタマがオンラインショッピング上の店舗をアク  
セスした際の履歴情報を取得するアクセス履歴情報管理  
手段と、

前記カスタマが前記店舗から提供された商品情報につい  
て、選択した商品情報にマーキングを行うマーク付与手  
段と、

次回、前記カスタマが商品情報の要求を発行した場合  
に、前記アクセス履歴情報管理手段の前記履歴情報を参  
照して、前記マーク付与手段によりマーキングされた商

品情報を画面情報として前記カスタマに送信する商品情  
報提供手段とを有することを特徴とするオンラインショ  
ッピングにおけるカスタマ履歴管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、オンラインショッ  
ピングにおけるカスタマ履歴管理方法及びシステムに係  
り、特に、オンラインを用いた通信販売において、セン  
タからカスタマに商品情報を送信し、カスタマ側におい  
て当該商品情報を表示し、所望の商品を選択するオンラ  
インショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法及びシ  
ステムに関する。

【0002】オンラインショッピングにおいて、カスタ  
マ毎に、どのような商品を購入したか、またはどのよう  
な商品に興味があるか等の情報を管理すると共に、カス  
タマが購入を希望するまたは、興味のある商品情報を検  
索を容易に行うことができるシステムが望まれている。

【0003】

【従来の技術】従来のオンラインショッピングでは、ある  
センタがネットワークを介して提供する通信販売システ  
ムにカスタマ（利用者）が加入すると、センタは種々の  
商品情報を送信する。カスタマは、受信した商品情報を  
ディスプレイ上に表示し、所望の商品の購入申し込みの  
ための所定の画面上の指示に従って希望する商品コー  
ド、数量、金額等を入力して購入の申し込みを行う。

【0004】また、センタは、送信される商品情報を店  
舗毎に管理し、ある店舗毎に生成された独自の商品情報  
をカスタマに送信する。カスタマは、オンラインショッ  
ピングを開始する場合には、まず、購入したい店舗名を  
センタに送信すると、センタは、当該店舗の情報を検索  
して、カスタマに送信する。カスタマは、店舗独自で編  
集された商品情報を参照して、上記と同様の方法で購入  
の申し込みを行う。この商品情報は、表示される情報の  
内容や順序は固定であり、店舗の紹介から始まり、セク  
ション毎の商品の紹介に移行するような編集となっている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従  
来の例は、センタからカタログ形式で送信される多数の  
商品情報に対して、カスタマが気になった商品であり、  
まだ、購入を決意していないような商品にカスタマがマ  
ークを付与することは不可能である。カタログのように  
紙面において商品が紹介されているような場合には、気  
になる商品があるページにマーク（紙を折る、または、  
付箋を付ける等）を付与しておき、再度当該商品につい  
て検討することが可能であるが、オンラインショッピン  
グの場合には、単にディスプレイ上に商品紹介のデータ  
が表示されるだけであるので、当該システムを終了させ  
ると、再度商品の購入について検討することかできな  
い。このため、商品を選択するということは、当該商品

の購入申込と等しいため、申し込んだ後センタに対してキャンセルを通知する必要がある。

【0006】また、カスタマが店舗毎に生成された商品情報を用いてオンラインショッピングを行う方法は、例えば、ある店舗を検索すると、最初にその店舗の概要紹介が表示される。これは、表示順序が固定であるため、以前に当該店舗を検索したカスタマであっても、何度も当該画面を見せられることになる。また、カスタマが過去にアクセスしたという情報は管理していないため、例えば、あるカスタマが朝アクセスした場合と、同一カスタマが夕方アクセスした場合であっても、朝アクセスした画面と同様の画面が再度表示されてしまうため、例えば、夕方店舗をアクセスした時に、「おはようございます。いらっしゃいませ。」というメッセージが固定的に表示される。

【0007】さらに、カスタマが必要とする情報に辿り着くまで、前回検索した画面と同一画面を再度見ることになる。このような状況は、オンライン情報の伝送においても非効率であり、コストがかかるという問題がある。本発明は、上記の点に鑑みなされたもので、第1の目的は、カスタマが興味を示した商品に自動的にマークを付与し、カスタマが既知である画面を飛ばして、容易に当該商品を検索することが可能なオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法及びシステムを提供することである。

【0008】本発明の第2の目的は、店舗毎に生成された商品情報において、カスタマが既に検索している画面がある場合には、カスタマから当該画面表示が必要であるとの指示がない限り、自動的に商品情報に関する画面情報を提供することが可能なオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法及びシステムを提供することである。

【0009】

【課題を解決するための手段】第1の発明は、カスタマが有する端末と該端末にオンラインショッピングの情報を提供するセンタとの間において、提供される商品情報より所望の商品を選択して購入する際のカスタマの情報を管理するためのオンラインショッピングにおける履歴管理方法において、カスタマがセンタから提供された商品情報から選択した商品情報をカスタマ対応に記憶手段に格納しておき、カスタマが次回の商品情報検索要求を発行した時に、記憶手段から商品情報を読み出して、直接画面に表示する。

【0010】第2の発明は、センタから提供された商品情報が表示されると、カスタマは、表示された商品情報から所望の商品を選択し、商品の選択が終了した時点で、選択された全ての商品リストを表示し、表示された商品リストから購入する商品を選択し、購入する商品、及び選択のみされた商品を区別して格納する。

【0011】第3の発明は、カスタマの識別子を入力

し、以前に、カスタマがマーキングした商品のリストを表示し、商品リストから購入する商品を決定制し、購入した商品についてマーキングして、カスタマ対応に記憶手段に格納する。第4の発明は、選択された商品リストまたは、購入された商品リストをカスタマ毎に格納しておき、選択された商品リストまたは、購入された商品リストから傾向性を導出し、カスタマ対応に格納する。

【0012】第5の発明は、画面情報を所定の順序でカスタマに提供し、該カスタマが該画面情報から所望の商品を選択するオンラインショッピング上で、商品の販売を行う店舗単位に、商品の選択または購入した履歴情報または、該店舗をアクセスした履歴情報をカスタマ毎に格納しておく。

【0013】第6の発明は、カスタマの履歴情報として、カスタマが店舗に入店した時刻、退店した時刻を利用履歴に登録しておき、当該利用履歴の時刻を参照して、カスタマに提供する画面上の情報を変更する。第7の発明は、カスタマが店舗で購入した金額合計、または、選択、または購入した商品情報を利用履歴に格納しておき、利用履歴に基づいてカスタマに提示する画面情報を変更する。

【0014】第8の発明は、利用履歴からカスタマの傾向性情報を導出し、傾向性情報に基づいてカスタマに提示する画面情報を選択する。第9の発明は、カスタマが店舗に対して会員登録していない場合に限り、入会申込用の画面情報を提供する。

【0015】第10の発明は、カスタマが有する端末と該端末にオンラインショッピングの情報を提供するセンタとの間において、提供される商品情報より所望の商品を選択して購入する際のカスタマの情報を管理するためのオンラインショッピングにおける履歴管理方法において、店舗から提供された商品情報について、選択した商品情報を履歴情報に格納し、次回、カスタマが商品情報の要求を発行した場合に、履歴情報を参照して、マーキングされた商品情報を画面情報としてカスタマに送信する。

【0016】第11の発明は、ショッピング情報をオンラインにより提供するセンタと、該センタからのショッピング情報から所望の商品の選択入力を行う端末から構成され、カスタマが該センタにアクセスした履歴を管理するオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理システムにおいて、センタは、端末から指定された商品選択情報を格納する品選択情報格納手段と、端末から指定された商品購入情報を格納する商品購入情報格納手段と、商品選択情報格納手段に格納されている全ての商品選択情報と、商品購入情報格納手段に格納されている全ての商品購入情報との差分の情報にマークを付与して格納するマーク情報格納手段と、端末からショッピング情報要求が発行された場合に、マーク情報格納手段からマークが付与されている商品情報を読み出して、端末に提

示するマーク情報提示手段とを有する。

【0017】第12の発明は、ショッピング情報をオンラインにより提供するセンタと、該センタからのショッピング情報から所望の商品の選択入力を行う端末から構成され、カスタマが該センタにアクセスした履歴を管理するオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理システムにおいて、センタは、端末から指定された商品選択情報を格納する商品選択情報格納手段と、商品情報格納手段に格納されている商品選択情報を端末に提示する商品選択情報提示手段と、端末が商品選択情報から購入決定した以外の商品選択情報のみを格納する購入商品除外情報格納手段と、購入商品除外情報格納手段の情報にマークを付与した情報を格納するマーク情報格納手段と、端末からショッピング情報要求が発行された場合に、値機マーク情報格納手段からマークを付与した情報を読み出して端末に提示するマーク情報提示手段とを有する。

【0018】第13の発明は、ショッピング情報をオンラインにより提供するセンタと、該センタからのショッピング情報から所望の商品の選択入力を行う端末から構成され、カスタマが該センタにアクセスした履歴を管理するオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理システムにおいて、センタは、カスタマがアクセスしたオンラインショッピング上の店舗における履歴情報、商品選択履歴情報、又は、商品購入履歴情報の少なくとも1つの履歴情報を格納する履歴情報格納手段と、履歴情報格納手段に格納されている履歴情報に基づいて端末に提示する画面情報を選択する画面情報選択手段とを有する。

【0019】また、第14の発明において、履歴情報格納手段は、カスタマの商品選択履歴情報または商品購入履歴情報の傾向性を示す情報を格納する傾向性情報格納手段を含む。また、第15の発明において、センタは、カスタマがオンラインショッピング上の店舗に未登録である場合のみ登録用の画面情報を提供する登録画面情報提供手段を更に有する。

【0020】第16の発明は、カスタマが有する端末と該端末にオンラインショッピングの情報を提供するセンタとの間において、提供される商品情報より所望の商品を選択して購入する際のカスタマの情報を管理するためのオンラインショッピングにおける履歴管理システムにおいて、前記カスタマがオンラインショッピング上の店舗をアクセスした際の履歴情報を取得するアクセス履歴情報管理手段と、前記カスタマが前記店舗から提供された商品情報について、選択した商品情報にマーキングを行うマーク付与手段と、次回、前記カスタマが商品情報の要求を発行した場合に、前記アクセス履歴情報管理手段の前記履歴情報を参照して、前記マーク付与手段によりマーキングされた商品情報を画面情報として前記カスタマに送信する商品情報提供手段とを有する。

【0021】上記の第1及び第11の発明は、センタから提供された商品情報の中でカスタマが選択した商品にマークを付与して記憶しておき、マーキングされた商品情報を次回の商品情報要求時にダイレクトに画面表示することにより、商品選択画面に至るまでの数画面の表示を省略して表示するため、カスタマが興味を示した商品を容易に検索することが可能となる。

【0022】上記の第2及び第12の発明は、センタから提供された商品情報の中から、まだ、購入を決定していない選択しただけの商品を、商品選択終了時に一覧表として表示することにより、カスタマは、自分の予算や必要性を考慮してから、購入を決定し、購入対象商品を入力することができる。さらに、この時点で購入した商品と購入せずに選択だけした商品とを区別して格納しておくことにより、選択だけした商品については、興味をひいた商品である。従って、回次のアクセス時において予算等が許せば購入可能な商品となる可能性があるため、再度当該情報のみを表示することが可能となる。

【0023】第3及び第13の発明は、選択した商品にマークを付与して格納しておくことにより、回次のアクセス時にマークが付与されている商品情報を表示することにより、購入したい商品の検索範囲を絞ることが可能である。第4の発明は、カスタマが選択または、購入した商品からカスタマの傾向性（例えば、サイズ、色、商品種別）を把握して格納しておくことにより、商品の選択または、購入時に併せて傾向性に関する情報をカスタマに提示することにより、同じ情報をカスタマが何度も入力する必要がない。

【0024】第5の発明は、オンラインショッピング上の店舗に対してカスタマがアクセスした履歴情報を格納しておくことにより、当該カスタマが次回同じ店舗にアクセスした際に、履歴情報に基づいて画面情報を提供することができる。例えば、既に当該店舗の会員となっているのであれば、再度会員登録を行う必要はなく、さらに、カスタマにとって既知である店舗案内等の表示は不要とするような制御が可能である。

【0025】第6の発明は、店舗の利用履歴の店舗利用の時間を保持することにより、その時間帯における商品情報を適宜変更してカスタマに提供することができる。例えば、時刻t1にカスタマがある商品の購入を申し込んだが在庫がなかったとする。しかし、再度アクセスした時刻t2において当該商品が補充されたため、在庫切れが解消したような場合において、カスタマは当該商品を購入することが可能となる。このように、時間の変化と共に、品揃えやサービスの環境に変化がおきた場合であっても、以前アクセスした情報を保持することにより対処することが可能となる。

【0026】第7の発明は、カスタマの利用履歴に購入金額等の情報を含むことにより、ある金額以上の購入者に対する割引等の優遇措置やそれらに対応するメッセー

ジを画面情報として提供することが可能となる。第8の発明は、カスタマの履歴情報にも傾向性を示す情報を含めることにより、ある店舗で商品の購入を行う場合に、商品選択のための画面情報を傾向性を加味して表示することにより、上記の第4の発明と同様に、カスタマが自分の傾向性を示すデータを入力する必要がない。

【0027】第9及び第14の発明は、店舗にアクセスした際に、カスタマ自身のパーソナル情報の登録を済ませているという履歴情報があることにより、当該店舗の会員となっていて、会員としてサービスを受けている状態において、何度も自分のパーソナルデータを登録する必要はなく、商品選択画面をダイレクトに表示することが可能となる。

【0028】第10と第16の発明は、カスタマが店舗にアクセスした際に、既に記憶されているカスタマのアクセス履歴を参照して、以前にマークした商品情報の画面情報をダイレクトに端末に表示可能とする。これによりカスタマは、既にアクセスしたことがある店舗の以前にマークを付与しておいた商品情報をダイレクトに画面表示できる。

【0029】

【発明の実施の形態】まず、最初に、オンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理システムにおいて、カスタマが興味を持った商品にマークを付与するための処理を説明する。

【0030】図1は、本発明の第1のシステム構成を示す。同図に示すシステムは、商品情報提供要求を発行し、商品情報提供を受ける端末100と、商品情報を端末100に提供し、端末100からの指定に基づいて種々商品情報に対応する画面情報を提供するセンタ200から構成される。

【0031】センタ100は、個々の商品の情報を格納する商品マスタ1、カスタマにより選択され、まだ、購入の手続きに至っていないカスタマ対応の商品選択情報を格納する仮受注ファイル2、カスタマから購入指示があった商品情報を格納する受注ファイル3、仮受注ファイル2から購入指示があった商品情報を除去し、単に選択されただけの商品情報にマークを付与して格納するマーク付与商品ファイル4、カスタマ毎の登録情報を格納するカスタママスタ6、カスタマからの選択または、購入の指示が行われた商品情報を管理する受注処理部10、センタ200と端末100との間の情報のやり取りを行う送受信部20から構成される。端末200は、カスタマが商品の発注に用いるための入力部（キーボードまたは、ポインティングデバイス）を有する。

【0032】図2は、本発明の第1のシステムの一連の動作を示すフローチャートである。

ステップ101) まず、センタ100が商品マスタ1を読み込んで、オンラインによりカスタマに商品情報を提供し、カスタマ側の端末200は、当該商品情報を受

信する。

【0033】ステップ102) 端末200は、受信した商品情報を表示部に表示する。

ステップ103) カスタマは商品情報を順次表示し、気に入ったものがあれば、当該商品を発注する。つまりポインティングデバイスを希望する商品項目の表示位置でクリックすることにより、当該商品の発注指定を行い、当該指定情報をセンタ100に転送する。これによりセンタ100の受注処理部10は、仮受注ファイル2の当該発注指定された商品情報に受注マークを付与する。この処理をカスタマの商品選択処理が終了するまで繰り返す。

【0034】ステップ104) カスタマによる全ての商品指定が終了すると、センタ100の受注処理部10は、仮受注ファイル2を読み込んで、発注リストを生成し、端末100に送信する。発注リストはカスタマが気に入ったものの全ての商品情報が含まれている。

【0035】ステップ105) カスタマは表示部に表示された発注リストを参照して、本当に欲しいもの、または、予算に応じて抽出し、当該抽出された商品情報をセンタ100に送出する。ここで、商品の購入申し込みがあった場合には、ステップ107に移行し、申し込みが無かった場合にはステップ106に移行する。

【0036】ステップ106) 商品の申込がなかった商品情報については、マークを付与して、カスタマ毎にマーク付与商品ファイル4に格納する。

ステップ107) 商品の申し込みがあった商品情報については、受注ファイル3に格納する。

【0037】上記のように、カスタマは気に行った商品を選択し、センタ100に通知しておく。そして、購入決定時（支払処理）において、センタ100からカスタマが発注した内容をリストにしてカスタマに提示する。カスタマは当該リストを参照して、カスタマは購入意思のある商品及び数量等を入力する。センタ100の受注部10は、購入決定された商品情報を受注ファイル3に格納し、購入決定されなかった商品については、カスタマ毎に編集してマーク付与商品ファイル4に格納する。

【0038】これにより、同一カスタマが次回当該システムにアクセスすると、マークが付与されている商品情報が表示され、画面上のマーク一覧表示ボタンをクリックすることにより、当該カスタマが今までにマークした商品のリストが表示される。次に、本発明の商品情報にマークを付与するための第2のシステムについて説明する。

【0039】図3は、本発明の第2のシステム構成図である。同図に示すシステムにおいて、センタ100は、受注処理部10、送受信部20、商品マスタ1、及び受注ファイル3を有する。図4は、本発明の第2のシステムの一連の動作を示すフローチャートである。

【0040】ステップ201) まず、センタ100が



商品マスタ1を読み込んで、オンラインによりカスタマに商品情報を提供し、カスタマ側の端末200は、当該商品情報を受信する。

ステップ202) 端末200は、受信した商品情報を表示部に表示する。

【0041】ステップ203) カスタマは、表示された商品情報について気に入った(興味のある)商品にマークを付与する。具体的には、画面の指定部分をクリックする。これにより、受注部10は、受注ファイルに当該商品情報とマーク付与情報を格納する。

【0042】ステップ204) マーク付与処理が終了すると、受注ファイル3からマークが付与されたレコードを読み込んで、カスタマがステップ203で選択した全ての商品の選択リストを出力する。

ステップ205) カスタマは当該リストを参照し、購入決定を行う。

【0043】ステップ206) ここで購入決定された商品には、購入マーク(金額の入力でもよい)を付与して受注ファイル3に格納する。これにより、同一のカスタマが再度当該商品情報を表示する際に、センタ100は受注ファイル3からマーク付与情報を読み込んで、端末200に送信することにより、カスタマは当該マーク付与情報を表示することにより、前回興味を持った商品を全ての商品情報を検索しなくとも取得することが可能である。

【0044】次に、オンラインショッピング上の店舗をアクセスした場合のカスタマのアクセス履歴を管理するシステムについて説明する。図5は、本発明のカスタマ来店履歴管理システムの構成を示す。同図に示すセンタ100は、カスタマの来店(アクセス)履歴を管理する履歴管理部30、初めて来店した(第1回目のアクセス)カスタマ情報を登録するカスタマ登録部20及び端末200とのデータの送受信を行う送受信部20、カスタマ来店履歴ファイル5、カスタマ登録部20により生成されるカスタママスタ6より構成される。

【0045】図6は、本発明のカスタマ来店履歴管理システムの一連の動作を説明する。

ステップ301) まず、端末200からある店舗の情報にアクセスされる(端末200が店舗を指定入力する)。端末200からのアクセス時には店舗(またはモール)の会員であれば会員番号の入力が指定されているものとする。

【0046】ステップ302) センタ100は、カスタマの会員番号が入力されない場合(null)には、当該カスタマからのアクセスは初めて(1回目)であると判定し、ステップ303に移行し、カスタマから会員番号の入力がある場合には、すでに会員登録されていると判定し、ステップ304に移行する。

【0047】ステップ303) カスタマの会員登録処理を行い、ステップ305に移行する。会員登録項目

は、氏名、住所等の個人情報及びアンケート情報を含む項目であることが望ましい。アンケート情報の入力は、サイズや嗜好性をデータとして保持し、販売促進に利用することができる。

【0048】ステップ304) 履歴管理部30は、カスタマ来店履歴ファイル5を読み込んで、当該カスタマの履歴情報を参照し、種々のメッセージや商品情報を端末200に送信すると共に、当該日時にイベント等がある場合には、その情報も併せて端末200に送信する。

【0049】ステップ305) 端末200は、センタ100から送信された種々の商品情報イベント情報、及び各種メッセージを画面に表示する。カスタマは、種々の商品情報を検索して、購入等の入力を行って、センタ100に送信する。これによりセンタ100の履歴管理部30は、カスタマ毎にアクセス時における検索状況、検索時刻、購入された商品情報等をカスタマ来店履歴情報として、カスタマ来店履歴ファイル5に格納する。

【0050】これにより、ある店舗の会員となったカスタマについては、当該店舗にアクセスすることにより当該カスタマ個人のショッピングに関する画面を提供することができる。

【0051】

【実施例】以下に、図面と共に、本発明の実施例を説明する。

〔第1の実施例〕第1の実施例としてカスタマ受注履歴管理システムにおいて、カスタマが興味を持った商品にマークを付与するための第1の処理を説明する。

【0052】図7は、本発明の第1の実施例のマーク付与処理を説明するための図である。以下の動作は、図1、図2の処理に基づいて説明する。

(1) 最初に、カスタマAがセンタ100へオンラインショッピングのアクセスを行う。

【0053】(2) センタ100は、カスタマAからアクセスがあると、図7の画面Aの情報を端末200に送信する。端末200は、画面Aを表示し、ここで、利用者番号を入力し、「確定」をクリックする。(3)

これによりセンタ100は、次の画面として図7の画面Bを端末100に送信する。端末200は、画面Bを表示し、カスタマAはこの画面Bの情報より商品種別として「4444」(ラップスカート)を選択する。

【0054】(4) センタ100は、商品マスタ1より画面Cの情報を取得して、端末200に送信する。カスタマは、画面Cのc1に表示されるパターン(グラフィック)等を参照して、気に入れば「バスケットに入れる」というボックスc2をクリックする。このバスケットに入れるという項目の意味はカスタマがレジ精算する前の状態をイメージしており、未だ未精算であり、商品を選択したことを表す。

【0055】(5) センタ200は、カスタマAが「バスケットに入れる」というボックスc2をクリック



することにより、入力した商品情報を仮受注ファイル2にカスタマAの情報と共に格納する。このようにして選択された商品が5つあるとする。ここで、カスタマAは、「選択終了」のボックスをクリックすると、センタ200の受注処理部10は、仮受注ファイル2にこれらの選択された商品情報を格納する。

【0056】(6) 次に、受注処理部10は、仮受注ファイル2を読み込んで、図8に示すような画面情報を端末100に送信する。

(7) カスタマAは、図8に示す仮受注リストより購入したい商品をクリックする。センタ100の受注処理部10は、クリックされた商品の情報をカスタマ情報と共に、受注ファイル3に格納し、選択されなかった商品の情報をカスタマ情報と共にマーク付与商品ファイル4に格納する。

【0057】(7) ここで、再度カスタマAが当該システムにアクセスすると、センタ100は、図9に示すような画面を表示し、カスタマAが当該画面のマーク一覧表示ボックスをクリックすると、図10に示すように、上記の(6)において選択したが、購入されなかった商品情報が表示される。このとき、仮受注ファイル2に選択した日付も一緒に格納しておくことにより、図10に示すように、前回アクセスした日付を挿入したメッセージを併せて表示することも可能である。

【0058】また、所定の回数分のマーク付与商品ファイル4の情報を順次表示するようにしてもよい。このとき、マーク付与商品ファイル4から購入された商品がある場合には、当該商品情報をファイル4から削除する。

(8) カスタマAが図10に表示された商品群から商品番号“444401”を選択すると、図7の画面Cを再度表示することが可能である。これは、前回アクセスした日よりかなり日数が経過して、カスタマが商品のイメージを忘れている場合に有用である。

【0059】上記の処理により、カスタマが未だ購入を迷っている場合に、購入前に選択した商品情報を出力することが可能であるため、出力されたリストを確認してから購入の申し込みが可能になる。

〔第2の実施例〕第2の実施例としてカスタマ受注履歴管理システムにおいて、カスタマが興味を持った商品にマークを付与するための第2の処理を説明する。

【0060】本実施例は、前述の図3、図4に基づいて説明する。以下の説明において、上記の第1の実施例における説明の(1)から(4)までの処理は同様であるので、その説明は省略する。

(5) 図7の画面において、カスタマAが「バスケットに入れる」というボックスを選択すると、受注処理部10は、当該商品情報及びカスタマAの情報を受注ファイル3に格納する。このとき、当該商品情報には、商品を選択したことを意味するマークが付与される。図11に受注ファイルの例を示す。同図に示す受注ファイル3

は、カスタマ番号、氏名、住所からなるカスタマ情報101、商品番号、色、サイズ、数量、金額からなる商品情報102、マーク103、支払情報104より構成される。つまり、カスタマが商品を選択するとマーク欄にマークが付与される。具体的には、購入時には“1”、選択時には“0”が設定されるものとする。

【0061】(6) 次に、受注ファイル3から選択された(マーク欄103が“0”)情報を端末200に転送する。このとき、端末200に表示される画面は、図8と同様である。これにより、カスタマAが購入を希望する商品をクリックし、受注マスタ3のマーク103にマーク(購入時“1”)を付与する。

【0062】(7) 後日、カスタマAが当該システムにアクセスすると、図9と同じ画面が表示される。ここで、カスタマAが「マーク一覧表示」ボックスをクリックすると、受注処理部10は、受注ファイル3からマーク欄103が“0”の商品情報を取得して、図10に示すような画面情報を端末200に提供する。このように、本実施例によれば、一度カスタマが選択した商品(未購入)は、当該カスタマが興味を持った商品であるため、再度アクセスされた時に、カスタマが商品種別を選択した後に、マーク一覧表示が可能な旨を画面に表示することにより、カスタマの過去のショッピングにおける商品選択の記録を提示することが可能である。これにより、カスタマは、全ての商品情報を順に辿って参照することなく、一度興味を持ち、選択した商品であれば、ダイレクトにアクセスすることが可能であり、検索に要する時間が短縮される。

【0063】更に、この方法は、第1の実施例のマーク付与ファイルや仮受注ファイルを使用せずに、受注ファイルのみで管理することができる。また、受注ファイル3の商品情報102に、当該商品の画面番号を付随しておき、画面ファイル(図示せず)より直接当該商品情報に対応する画面を端末に送信するようにしてもよい。

【0064】〔第3の実施例〕本実施例ではカスタマの履歴を管理するシステムについて説明する。以下の説明では、カスタマ毎の受注(購入)履歴を含めて処理を行うものとする。

【0065】図12は、本発明の第3の実施例のカスタマ履歴システムのセンタ構成を示す。同図に示すセンタ100は、受注処理部10、送受信部20、履歴管理部30、カスタマ登録部40、制御部50、カスタマ来店履歴ファイル5、受注ファイル3、カスタママスタ6より構成される。

【0066】受注ファイル3は、図13に示すように、カスタマID、受注した日時、ショッピングモールをイメージした店舗のグループ番号を意味するモール番号、各店舗毎に付与される店番号、受注された商品番号、受注した個数、状態の各情報から構成される。受注ファイル3の状態として、“1”が選択のみで受注に至らな

ったことを示し、“2”は注文のみを受けたことを示し、“3”は入金済かつ商品出荷完了の状態を示す。商品番号は、商品毎に一意に付与される番号であり、商品、色、サイズ等にそれぞれ番号を付与して構成される。

【0067】カスタマ来店履歴ファイル5は、図14に示すようにカスタマID、モール番号、店番号、日付、入店時刻、退店時刻より構成される。なお、本実施例では、モール番号を使用しているが、この例に限定されることなく、モールのようなグループを構成していない場合には、店番号のみでもよい。同図に示すカスタマ“ABC123”は、1995年10月30日の10:00にモールに入り、1995年10月30日の10:05に店舗“2”に入店し、11:20に退店してし、11:23にモールを退店していることを示す。

【0068】カスタママスタ6は、図15に示すように、カスタマID、氏名、状態、住所、電話番号等より構成される。図16は、本発明の第3の実施例の動作を示すフローチャートである。

ステップ401) 端末200がログインする。

【0069】ステップ402) センタ100の制御部50は、カスタマが入力したカスタマIDをチェックする。ここで、カスタマIDが予めセンタに登録されていないIDであればステップ401に移行する。センタ100に登録されている場合には、ステップ403に移行する。

【0070】ステップ403) ここで、カスタマに対して図17の画面Dの情報を送信し、ここで、カスタマが「ショッピング」を選択した場合には、ステップ404に移行し、「お客様情報」を選択した場合には、ステップ405に移行する。

ステップ404) カスタママスタ6を参照して、アクセスしているカスタマがモール会員であるかを判定し、会員でない場合には、ステップ405に移行する。モール会員であればステップ408に移行する。

【0071】ステップ405) 新規に会員登録する場合や、カスタマが更なる情報を登録しておきたい場合には、以下の処理を行う。まず、センタは規約表示を行うと共に各店舗の紹介情報を端末200に送信する。

ステップ406) 当該カスタマが入会を希望するかを問い合わせる。入会を希望している場合には、ステップ407に移行し、希望していなければ当該処理を終了する。

【0072】ステップ407) 入会処理として、図18に示すような画面情報を端末200に送信する。これにより、カスタマは各項目にそれぞれ入力を行う。さらに、図19に示すような種々の付属情報を登録することも可能である。ここで、「お客様の記念日を登録」を選択すると、図20に示すような画面が表示され、種々の項目に必要な情報を入力する。これ以降は、ステップ4

10に移行する。

【0073】ステップ408) ステップ404において当該カスタマがモール会員である場合には、モールをアクセスした時刻、モール内の店舗に入店した時刻をチェックして、カスタマ来店履歴ファイル5に記録する。ステップ409) 次にモールに入る(アクセスする)と、図21に示すようなショッピングモールの初期画面が表示される。この表示画面は、センタ100の制御部50がある期間中において固定表示するメッセージや、履歴管理部30がカスタマ来店履歴ファイル5を検索してカスタマの購入によるポイント数等をメッセージ中に挿入・構築して、端末200に送信する。

【0074】ステップ410) 図21の画面において「次画面」のボックスを選択すると、図22に示すように、各店舗の選択用の画面Eが表示される。ここで、カスタマが“AA”を選択すると、図22の画面Fの画面が表示され、ここで、「次画面」のボックスをクリックすると、図22の画面Gが表示される。さらに、ここで、「次画面」のボックスをクリックすると、図23の画面Hが表示される。このように、ある店舗に入る(アクセスする)と、階層構造を有する画面情報が画面ファイル(図示せず)より提供される。画面Hにおいて、各フロアをイメージした売場案内(商品のグループ名)が表示される。

【0075】ステップ411) 画面Hにおいて「商品検索」のボックスをクリックし、検索対象となる売場を選択すると、受注処理部10は、前述の第1及び第2の実施例で説明したような受注処理を行う。

ステップ412) 商品の受注処理が終了すると、履歴管理部30は、カスタマが「店を出る」を選択すると当該時刻及び、受注処理によりカスタマが購入した合計金額の情報、購入商品情報等を収集し、カスタマ来店履歴ファイル5に格納する。

【0076】このようにカスタマの来店履歴を取ることにより、初めてモールにきた人(ショッピングネットワークにアクセスしたカスタマ)には、無条件にモールまたは、店舗概要を表示し、二回以上アクセスしているカスタマには、店概要の表示を希望しているカスタマ以外には表示しないように制御することができる。

【0077】また、既に会員になっているカスタマには入会用の登録画面は表示しない。さらに、入店時間(アクセス時刻)により画面に表示するメッセージを変化させ、当該時刻や環境に適応したメッセージを表示することが可能となる。また、カスタマ来店履歴ファイル5に受注データを組み込むことにより、ある金額以上または、所定回数以上の購入履歴があるカスタマには、特別なメッセージを表示することが可能である。

【0078】また、受注ファイル3を検索することにより、カスタマの購入傾向を把握し、個人別の商品傾向に応じた商品の紹介等を行うことができる。例えば、受注

ファイル3をアクセスし、当該カスタマが好んで選択している素材や、色の傾向性を把握する。これは、商品番号等を解析し、購入回数をカウントし、多い順にソートすることによりその傾向性を得ることができる。

【0079】〔第4の実施例〕本実施例では、カスタマの傾向性をカスタママスタ6に格納しておき、いくつもの表示画面の選択を行わなくとも所望の画面を表示する例を示す。受注処理部10において、過去にカスタマが購入したサイズの統計を取り、その統計結果をカスタママスタ6に格納する。図24は、カスタマの統計情報を含んだカスタママスタの例を示す。このような構成にすることにより、受注処理部10は、当該カスタマが既に会員であり、購入履歴から傾向性データであるサイズが既知であるため、図25に示すようなサイズ選択画面1を提示することなく、自動的に図7の画面Cに示すように選択画面にサイズを表示することが可能である。

【0080】なお、前述の第3の実施例において、第2の実施例におけるマーク付与商品情報を用いるようにし、さらに、商品情報提供時に第4の実施例のカスタマの傾向性を示すデータを併せて表示することも可能である。つまり、モール内の店舗をアクセスしたカスタマが以前当該店舗に来た（アクセス）した後に、選択のみ行い（「バスケットに入れる」）、購入を行っていない商品をカスタマに表示する。このとき、カスタマのサイズや、以前に来店した日時等の情報を併せてカスタマに送信する。これにより、カスタマは、サイズ入力のための画面や、選択した商品の情報に辿り着くまでの他の画面を表示せずに、容易に所望の商品を検索することができる。

【0081】なお、本発明は、上記の実施例に限定されず、特許請求の範囲内で種々変更・応用が可能である。

【0082】

【発明の効果】上述のように、本発明のオンラインショッピングにおけるカスタマ履歴管理方法及びシステムによれば、商品選択を行うための画面を表示するまでに初期画面を先頭し、種々の画面選択の入力（クリック）が必要となるが、カスタマの商品選択履歴や、店舗にアクセスした履歴を保持しておくことにより、2回目以降に商品選択のために表示する画面数を削減することができるため、オンライン伝送における通信コストが大幅に削減される。

【0083】さらに、履歴情報を保持しておくことにより、カスタマが行う登録処理は1回のみで済むことになり、カスタマに対する処理負担が削減される。さらに、マーク付与商品情報をカスタマに提供する際に、購入や来店（アクセス）の履歴情報を参照すると共に、カスタマの個人的なサイズや好みの色等カスタマ毎のパーソナル情報を併せて提供することも可能であり、これらを併せて画面の提供を行うことにより、カスタマが商品検索

のための様々な画面を辿って商品を検索する必要がなく、カスタマに負担をかけない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1のシステム構成図である。

【図2】本発明の第1のシステムの一連の動作のフローチャートである。

【図3】本発明の第2のシステム構成図である。

【図4】本発明の第2のシステムの一連の動作を示すフローチャートである。

【図5】本発明のカスタマ来店履歴管理システムの構成図である。

【図6】本発明のカスタマ来店履歴管理システムの一連の動作のフローチャートである。

【図7】本発明の第1の実施例のマーク付与処理を説明するための図である。

【図8】本発明の第1の実施例の仮受注リストの例を示す図である。

【図9】本発明の第1の実施例の再アクセス時の画面表示例を示す図である。

【図10】本発明の第1の実施例のマーク一覧表示の例を示す図である。

【図11】本発明の第2の実施例の受注ファイルのフォーマットの例を示す図である。

【図12】本発明の第3の実施例のカスタマ履歴システムのセンタの構成図である。

【図13】本発明の第3の実施例の受注ファイルの例を示す図である。

【図14】本発明の第3の実施例のカスタマ来店履歴ファイルの例を示す図である。

【図15】本発明の第3の実施例のカスタママスタの例を示す図である。

【図16】本発明の第3の実施例の動作を示すフローチャートである。

【図17】本発明の第3の実施例の画面情報の遷移を示す図である。

【図18】本発明の第3の実施例の入会登録用の画面例を示す図である。

【図19】本発明の第3の実施例の他の登録画面の例を示す図である。

【図20】本発明の第3の実施例の付属情報登録の例を示す図である。

【図21】本発明の第3の実施例のモールアクセスによる初期画面の例を示す図である。

【図22】本発明の第3の実施例の店舗初期画面例を示す図である。

【図23】本発明の第3の実施例の売場案内の画面例を示す図である。

【図24】本発明の第4の実施例のカスタママスタの例を示す図である。

【図25】本発明の第4の実施例のサイズ選択画面の例

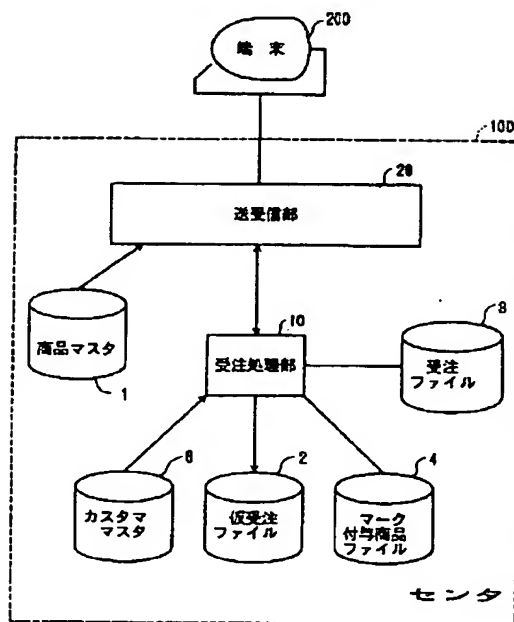
を示す図である。

【符号の説明】

- 1 商品マスタ
- 2 仮受注ファイル
- 3 受注ファイル
- 4 マーク付与商品ファイル
- 5 カスタマ来店履歴ファイル
- 6 カスタママスタ

【図1】

本発明の第1のシステム構成図



【図18】

本発明の第3の実施例の入会登録用の画面例を示す図

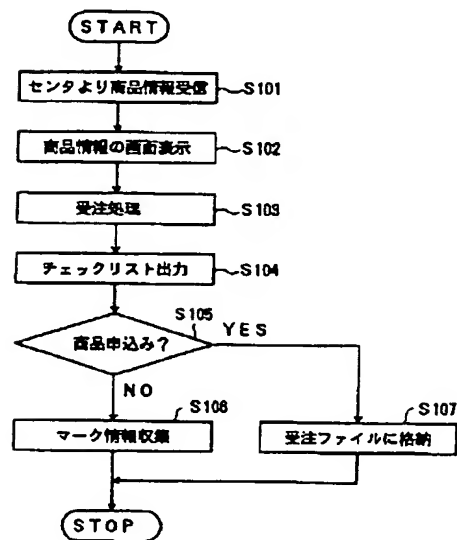
お名前	<input type="text" value="佐々木 健"/>	性別▷	男性 女性 不明
生年月日	1970年 10月 14日		
住所	<input type="text" value="東京都千代田区千代田"/>		
電話番号	<input type="text" value="03-1234-5678"/>		
カスタマID	<input type="text" value="11223451"/>		
登録 中止			

- \* 10 受注処理部
- 20 送受信部
- 30 履歴管理部
- 40 カスタマ登録部
- 50 制御部
- 100 センタ
- 200 端末

\*

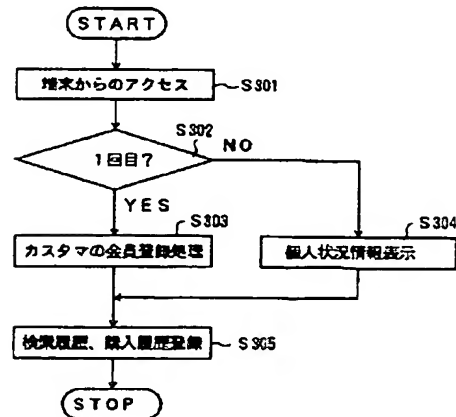
【図2】

本発明の第1のシステムの一連の動作のフローチャート



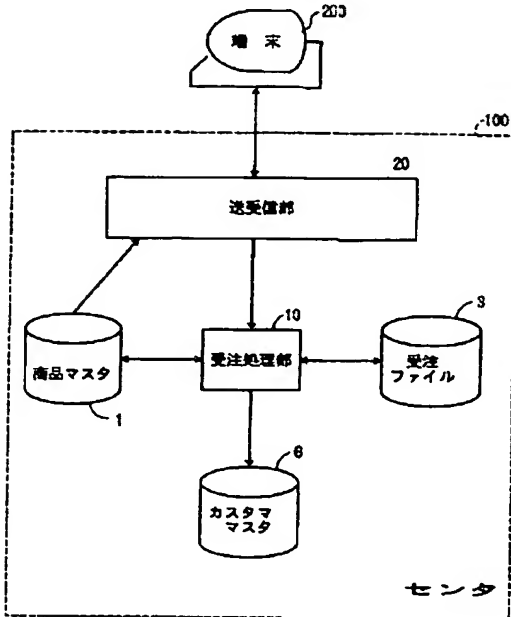
【図6】

本発明のカスタマ来店履歴管理システムの一連の動作のフローチャート



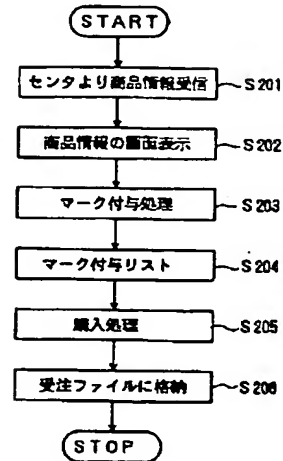
【図3】

本発明の第2のシステム構成図



【図4】

本発明の第2のシステムの一連の動作を示すフローチャート

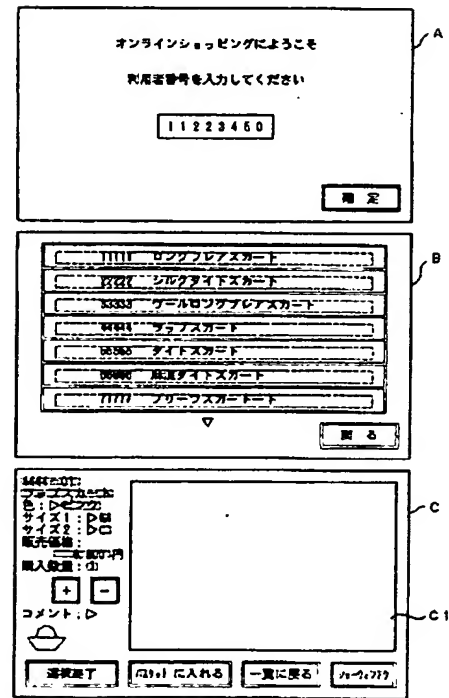
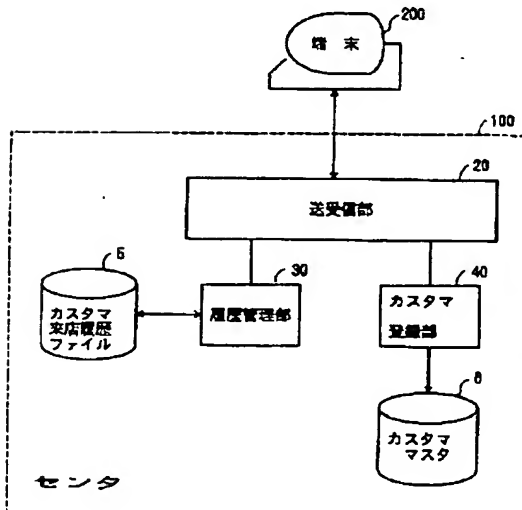


【図7】

本発明の第1の實施例のマーク付与処理を説明するための図

【図5】

本発明のカスタム入店履歴管理システムの構成図



C2

【図8】

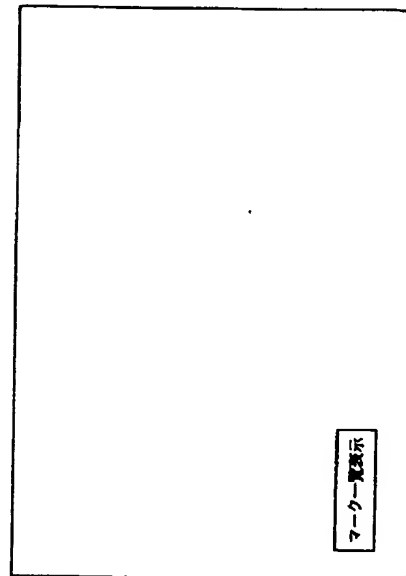
本発明の第1の実施例の仮受注リストの例を示す図

お客様が選ばれた商品の以下の通りです。  
お買い上げになる商品をお選び下さい。

商品番号	商品名	色	サイズ	数量	金額
444-01	ラップスカート	ピンク	M	1	12,000
555-13	タイトスカート	ブルー	M	1	18,000
1522-01	ジャケット	ブルー	M	1	20,000
1523-08	ジャケット	ホワイト	M	1	25,000
3555-01	ワンピース	ブラック	M	1	20,000

【図9】

本発明の第1の実施例の再アクセス時の画面表示例を示す図



【図10】

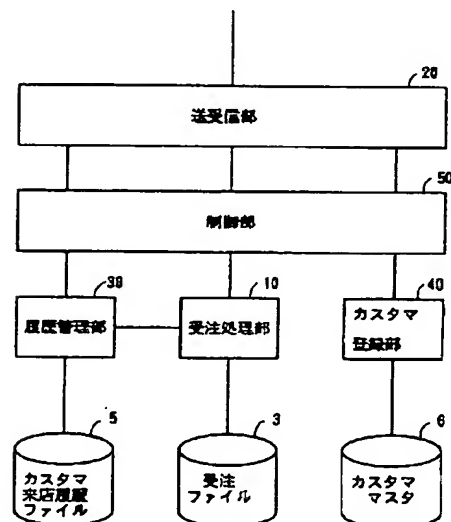
本発明の第1の実施例のマーク一覧表示の例を示す図

10月10日に加盟店時に選ばれた商品は以下の通りです。

商品番号	商品名	色	サイズ	数量	金額
444-01	ラップスカート	ピンク	M	1	12,000
555-13	タイトスカート	ブルー	M	1	18,000
3555-01	ワンピース	ブラック	M	1	20,000

【図12】

本発明の第3の実施例のカスタマ履歴システムのセンタの構成図



【図11】

本発明の第2の実施例の受注ファイルのフォーマットの例を示す図

101			102				103		104		105
カスタマ情報			商品情報				選択マーク		支払情報		購入マーク
カスタマ番号	氏名	住所	商品番号	色	サイズ	数量	金額				

【図13】

本発明の第3の実施例の受注ファイルの例を示す図

カスタマID	日時	モール地	店番号	商品番号	数量	状態
ABC123	1995.10.30,13:30	1	0	9990102	2	9
ABC123	1995.10.30,14:20	1	0	9990102	0	1
DEF456	...	1	5	7770101	0	2

【図14】

本発明の第3の実施例のカスタマ来店履歴ファイルの例を示す図

【図15】

本発明の第3の実施例のカスタママスタの例を示す図

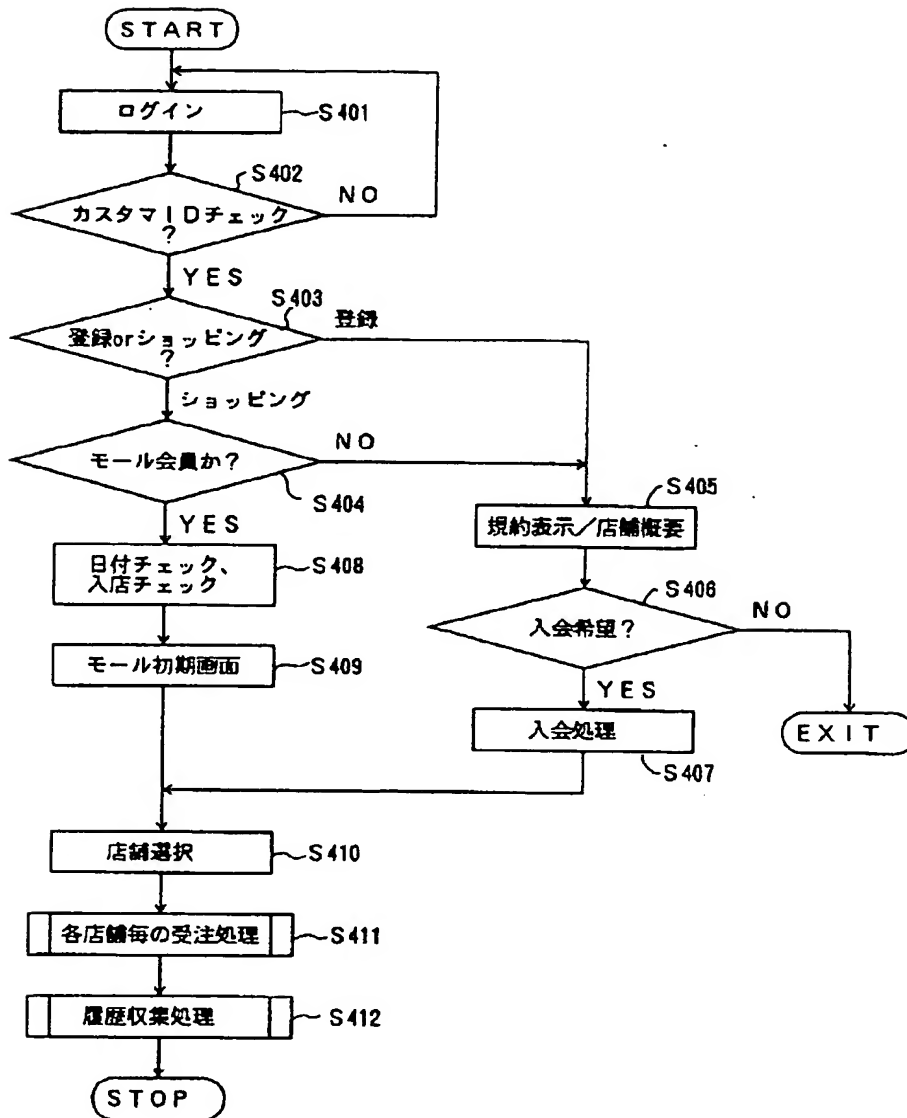
カスタマID	日時	状態	住所	電話
ABC123	ナカノ	タロウ	中野区...	03-...
DEF456	...	...	...	...

カスタマID	モール地	店番号	日時	入店時刻	退店時刻
ABC123	1	0	1995.10.30	10:00	11:23
ABC123	1	2	1995.10.30	10:05	11:20
DEF456	1	0	1995.10.31	13:30	



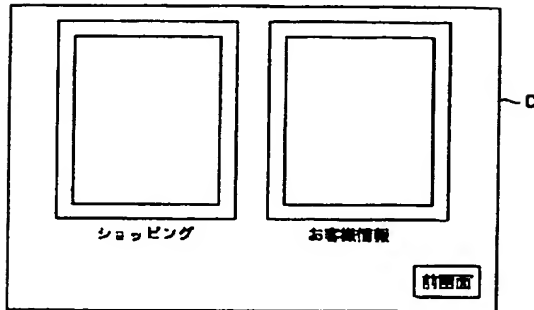
【図16】

本発明の第3の実施例の動作を示すフローチャート



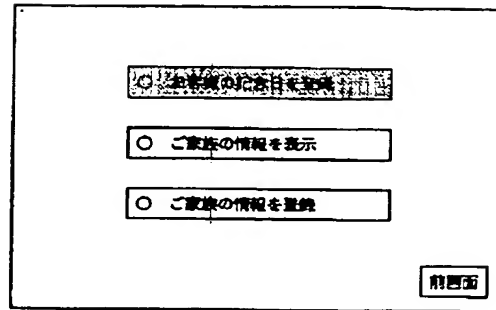
【図17】

本発明の第3の実施例の画面情報の遷移を示す図



【図19】

本発明の第3の実施例の他の登録画面の例を示す図



【図20】

本発明の第3の実施例の付属情報登録の例を示す図

7月20日は 誕生日 様の誕生日です。  
 5月4日は 結婚記念日 様の結婚記念日です。  
 11月4日は 誕生日 様の誕生日です。  
 月 日は 様の  
 月 日は 様の

▽

登録 中止

【図21】

本発明の第3の実施例のモールアクセスによる初期画面の例を示す図

ショッピングモールへようこそ

★只今夏のボーナスセールを実施中!!  
 ★\*\*のカタログではショッピング額  
 5000円以上の方抽選で10名様  
 ハワイ旅行プレゼント!!

★しばたあゆみ様のお誕生日は7月20日です。  
 プレゼントはもう準備されましたか?

★先月のお買上げは20ポイントでした。

△

マーク一覧表示 モールを出る 次画面

【図23】

本発明の第3の実施例の売場案内の画面例を示す図

特別優待価格 夏の天パニゲン  
 特別優待価格 北欧インテリア  
 ファッション レディース  
 ファッション 靴・バッグ  
 ファッション メンズ  
 インテリア リビング  
 インテリア 食卓

▽

商品検索 店を出る 広告を見る 商品を見る

【図25】

本発明の第4の実施例のサイズ選択画面の例を示す図

サイズ1  
 01 S (175cm)  
 02 M (175cm)  
 03 L (175cm)  
 04 LL (175cm)

▽

戻る

カートに入れる 案内を見る ショッピング

【図22】

本発明の第3の実施例の店舗画面表示例を示す図

ショッピングモール

AA

BB

CC

DD

EE

FF

GG

HH

いらっしゃいませ

AAにご来店致しました誠にありがとうございます。

お来店リスト

店を出る

次画面

★夏の大バーゲン

大人全員を30%OFFにてご奉仕中！！

★お歳入インテリアフェア

様々なインテリアを特別価格にてお供中！！

店を出る

新画面

次画面

【図24】

本発明の第4の実施例のカスタマスタの例を示す図

カスタマID	氏名	状態	住所	電話番号	最多利用店舗	購入履歴	サイズ
ABC123	オカノタロウ	1	東京都中央区...	03-XXXX-XXXX	3	8	M
DEF456	アズマハナコ	1	東京都品川区...	03-XXXX-XXXX	1	2	M

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成14年11月15日(2002.11.15)

【公開番号】特開平9-160977  
 【公開日】平成9年6月20日(1997.6.20)  
 【年通号数】公開特許公報9-1610  
 【出願番号】特願平7-320909  
 【国際特許分類第7版】

G06F 17/60  
 17/30

【F1】

G06F 15/21 310 Z  
 Z  
 330  
 15/40 310 F

【手続補正書】

【提出日】平成14年8月29日(2002.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 オンラインショッピングの情報を提供するコンピュータ上で実行される方法において、  
 (a) カスタマが選択した商品情報を受信し、カスタマ対応に記憶手段に記憶するステップと、  
 (b) 次回の商品情報検索要求時に、前記記憶手段から、当該カスタマの選択した商品情報を読み出して、カスタマに提供するステップとを有することを特徴とする方法。

【請求項2】 オンラインショッピングの情報を提供するコンピュータ上で実行される方法において、

(a) カスタマの識別情報と共に、購入履歴を記憶するステップと、  
 (b) 当該カスタマが次回アクセスする際、当該カスタマの購入履歴に基づいたメッセージを、当該カスタマに提供するステップとを有することを特徴とする方法。

【請求項3】 前記ステップ(b)は、購入回数に基づきメッセージを提供する請求項2の方法。

【請求項4】 前記ステップ(b)は、購入金額に基づきメッセージを提供する請求項2の方法。

【請求項5】 オンラインショッピングの情報を提供するコンピュータ上で実行される方法において、カスタマの識別情報と共に、購入商品の傾向性を記憶するステップと、  
当該購入履歴から購入回数の傾向性の情報を、当該顧客

に提供するステップとを有することを特徴とする方法。

【請求項6】 オンラインショッピングの情報を提供するコンピュータ上で実行される方法において、カスタマの識別情報と共に、購入した商品のサイズを記憶するステップと、  
当該カスタマが他の商品を選択した場合、当該サイズ情報に基づき当該他の商品のサイズ情報を予め選択して、当該カスタマに提供するステップとを有することを特徴とする方法。

【請求項7】 オンラインショッピングの情報を提供するコンピュータシステムにおいて、  
カスタマが選択した商品情報を、カスタマ対応に記憶する記憶手段と、  
次回の商品情報検索要求時に、前記記憶手段から、当該カスタマの選択した商品情報を読み出して、カスタマに提供する提供手段とを有することを特徴とするコンピュータシステム。

【請求項8】 オンラインショッピングの情報を提供するコンピュータシステムにおいて、  
カスタマの識別情報と共に、購入履歴を記憶する記憶手段と、

当該カスタマが次回アクセスする際、当該カスタマの購入履歴に基づいたメッセージを、当該カスタマに提供する提供手段とを有することを特徴とするコンピュータシステム。

【請求項9】 オンラインショッピングの情報を提供するコンピュータシステムにおいて、  
カスタマの識別情報と共に、購入商品の傾向性を記憶する記憶手段と、  
当該購入履歴から購入回数の傾向性の情報を、当該顧客に提供する提供手段とを有することを特徴とするコンピュータシステム。

【請求項10】 オンラインショッピングの情報を提供するコンピュータシステムにおいて、  
カスタマの識別情報と共に、購入した商品のサイズを記憶する記憶手段と、

当該カスタマが他の商品を選択した場合、当該サイズ情報に基づき当該他の商品のサイズ情報を予め選択して、  
当該カスタマに提供する提供手段とを有することを特徴とするコンピュータシステム。